湯坂路（ハイキングコース）

江戸時代（1603～1867）以前、東海道が箱根を通る主なルートだった頃、旅人はこの山の多い地域を超えるために古い湯坂道を使いました。9世紀にできたこの道は箱根湯本から始まり、箱根中央部の山の険しい場所をつづら折りに進み、芦之湯と箱根神社に向かって長い下りに入ります。途中、道中の危険からの加護を祈り人々が彫ったたくさんの石仏で知られる精進ヶ池を通ります。1180年には、強力な平一族との戦いで負けを喫した後に箱根神社に逃げ込んだ侍の将軍、源頼朝（1147～1199）が湯坂道を通っています。頼朝はやがて彼の軍を再結成し、平を破り、1185年にはその後約150年にわたり日本を事実上支配した鎌倉幕府を開きました。この頼朝の勝利は源家の代々の侍たちにインスピレーションを与えました。彼らの将軍をかくまい湯坂道の最大の栄華の時期をもたらしたこの神社に敬意を払われてきました。今ではハイキングコースとして維持されている長さ10.4キロのこの道を歩き、武士たちの足跡をたどることができます。